

補助金評価シート(平成21年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
96004	羽北道路改良委員会	建設水道課	建設管理係	増沢秀行	漆戸芳樹	
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 18 日	連絡先(内線)	2161	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0801	土木総務事務	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節	(コード選択)	3節	町の基盤を整備する	
		項[基本施策]	(コード選択)	311	計画的な土地利用	
		主な取り組み	(コード選択)	3314	国道153号、県道伊那辰野(停)線、下諏訪辰野線等の改良促進	
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (開始)	20 年度 ~ (終了予定)	50 年度	
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助	<input checked="" type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> 大会運営費補助	<input type="checkbox"/> 利子補給	<input type="checkbox"/> その他()
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令	<input type="checkbox"/> 条例規則	<input type="checkbox"/> 要綱等	<input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)	
補助金の算定方式	<input checked="" type="checkbox"/> 予算補助	<input type="checkbox"/> 決算補助	<input type="checkbox"/> 定率補助	<input type="checkbox"/> 定額補助		
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助	<input type="checkbox"/> 国・県補助あり	(町 / 10)	(県 / 10)	(国 / 10)	

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input checked="" type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input checked="" type="checkbox"/> 企業や団体	<input type="checkbox"/> 個人
---	-------------------------------	---	-----------------------------

(交付団体名 : 羽北道路改良委員会)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

羽北地区の道路の在り方を探り道路懇談会により道路網の整備計画を作成し住民説明を行う。此により事業箇所の順位を決定し羽場交差点の地域説明会・関係者説明会を行い関係者とのパイプ役となり事業の推進を図る。また予算獲得に対し多方面に要望を行う。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	国土交通省・長野県及び国会議員等に要望を行う。
2	関係者の立場に立ち県・町とのパイプ役になる。

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		50	年度(見込み)	
①	指標名	会議の開催		回	7	6	6	180
	説明	委員会・関係者説明会の回数		目標値設定の根拠	年2回の委員会と関係者及び打合会の年6回を見込む			
②	指標名	要望活動		回	3	3	3	90
	説明	要望活動の回数		目標値設定の根拠	年3回を見込む			

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度										
事業費(円)		100,000			100,000			100,000			100,000										
補助率(町負担分)		100%			100%			100%			100%										
町交付額(円)		100,000			100,000			100,000			100,000										
財源内訳	国庫支出金																				
	県支出金																				
	地方債																				
	その他																				
	一般財源	100,000			100,000			100,000			100,000										
人件費の概算		(千円)																			
対前年比		%																			
		課長		課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費						
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/			
町職員(正規職員)		0.01	0.01	0.01	0.03	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.05	0.04	0.03	1,520	425	387	314
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート											0	0	0	0					

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	町民が自ら進め羽北地域のため会を立ち上げ関係者の窓口となっている。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	羽北地域の道路交通において渋滞はマンネリ化し南信地域の大きな問題になっている。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	委員会の運営費に充てている。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	目的が同じでありその上関係者の気持ちを受けパイプ役となり事業の推進が図れる。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	事業の完成を100点として数値化が出来る。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	A	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	関係者とのパイプとなり悩みを解決でき、また、県等に要望が出来た。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	B	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	補助金は一部の者に交付するものとする。
その他	これまでに見直し実績はあるか	B	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	次年度以降は負担金の考えも考えたい。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		町民が自ら進め羽北地域の道路改良事業推進に役立っている。		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	22年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
町は委員会に対し平成25年度までに自主運営を導き負担金としたい。	[反映内容]				
	予算の獲得				

(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
地権者総会や改良事業が軌道に乗るまでは、地元委員会の経費もかかるので現状の補助金は必要。組織等もしっかりして補助金についても、有効活用をしている。事業終了までとはいかないが、当分の間は必要。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

b 上記 a ~ c を選択